

地域で子どもたちを育てるいしべっ子学習教室

| | | | |
|--|-----------------|---|--|
| 湖南省 | 活動名 : いしべっ子学習教室 | 石部小学校 | 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 主な活動場所: 石部まちづくりセンター 年間開催日数: 5日(10回) 平均参加人数: 72人 ・活動内容: <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他() | | 開始年度: 平成27年度: 地域学校協働活動推進員数: 1人 平均スタッフ数: 15人 | |

■ 活動の概要・特徴的な活動

長期休業期間に集中して学習に取り組める場を提供し、子どもたちの学習意欲が高まるよう支援している。学習教室以外に絵はがき教室、工作教室を開いた。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

まちづくり協議会に協力を依頼し、会場を校区の中心にあるまちづくりセンターに設定した。まちづくり協議会のみなさんには駐輪場の案内や受付を担当していただき、地域の方が子どもたちを育てる体制づくりを図った。今年度も中学生ボランティアを募集したところ、9名の参加があった。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

学校運営協議会の学習支援委員会が中心となり、協議し、子どもたちが安全に楽しく学習できるように配慮した。宿題のプラス学習としてプリントやオリジナルワークを用意し、終了時間までしっかりと学習できるようにした。絵はがき教室では裏面から宛先まで書き、切手を貼る体験もした。貯金箱づくりではカラー粘土を使い、色の三原色の学習も取り入れ、子どもたちはオリジナルの貯金箱を完成させた。

■ 事業の成果と課題

地域の協力を支えられ、のべ343人の子どもたちが参加し、集中して学習に取り組めた。幅広い年代の地域の方に子どもたちを育てていただきたいという思いより、学生ボランティアの人材確保が必要だと思われる。



【 工作教室の様子 】

報告書記入者 (地域学校協働活動推進員)

みなみっこ 土曜講座 夏休み子ども教室を企画しよう！

| | | | |
|---|-----------------|---|--|
| 湖南省 | 活動名 : みなみっこ土曜講座 | 石部南小学校 | 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 主な活動場所: 石部南小学校 年間開催日数: 10日 平均参加人数: 45人 ・活動内容: <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他() | | 開始年度: 平成26年度: 地域学校協働活動推進員数: 1人 平均スタッフ数: 14人 | |

■ 活動の概要・特徴的な活動

みなみっこ土曜講座では「ふるさと意識の醸成」「自主性の育成」を大きな柱とし、地域に伝わる伝統行事に参加・体験し、地域の特性を生かした活動を行っている。毎年開催されている「夏休み子ども教室」は企画から児童会が参画して行われている。
・宿題教室2回 ・カレー作り ・お菓子作りを行った。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

CS委員、地域の方、保護者にボランティアをお願いした。当日の動きを事前に伝えていたのでスムーズに活動が行われた。中学生にはスタッフとして、受付から片付けまで、責任をもって参加してもらった。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

各クラスに事前にアンケートをとり集約して理事会と話し合った。子どもたちが企画から参画することで、自分たちが考えた企画を運営する意識をもってもらう。

■ 事業の成果と課題

カレー作りのグループは縦割り学年で編成した。高学年が低学年のサポートをする姿が多くみられた。卒業した中学生や地域ボランティアは高学年を見守る立場で活動していた。



【 児童と理事の懇談会 】

報告書記入者 (地域学校協働活動推進員)

地域ぐるみで子どもを見守る「さんさん教室」

| | | | |
|---|------------|--|---------------|
| 湖南省 | 活動名：さんさん教室 | 三雲小学校 | 学校運営協議会：■有 □無 |
| 主な活動場所：学区内まちづくりセンター等の公共施設 年間開催日数：10日 平均参加人数：35人 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ） | | 開始年度：平成27年度： 地域学校協働活動推進員数：1人 平均スタッフ数：18人 | |

■ 活動の概要・特徴的な活動

- 夏休みの宿題や自主学習の支援活動を実施。折り紙アートで夏を彩るうちわ作り、抹茶体験、手作りおもちゃ（風船ボール、飛ぶ紙飛行機）を工作。
- CSと協力し、甲西中学校生徒による三雲小学校、三雲東小学校児童対象のクリスマス会を実施。
- 三雲学区まちづくり協議会オリジナル「にん忍パン」づくりを2月4日に実施予定。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- 三雲学区まちづくり協議会との連携で各地区からスタッフを配置し、安全面に配慮。
- また、材料費の支援、各講師の紹介等様々な面で支えていただいている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- 子どもと保護者の方には、安心して楽しいと思える活動内容。地域の方々ともつながりあえる交流を目指し、従来の活動内容を変更した。

■ 事業の成果と課題

- コロナ後ということもあり、参加者が増え、手狭な施設もあったが、夏休み前半と後半の活動は多くの友だちと会え、笑顔溢れる楽しい時間となった。また、新たな取組としてCS共催のクリスマス会は、甲西中学校、三雲小学校、三雲東小学校の枠を超え、地域の方とも交流ができ、大変好評だった。

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）



【夏を彩るうちわ完成】

「みくもっ子・ひがしっこ クリスマスパティー」

| | | | |
|--|-------------|---|---------------|
| 湖南省 | 活動名：ひがしっこ教室 | 三雲東小学校 | 学校運営協議会：■有 □無 |
| 主な活動場所：三雲小学校 年間開催日数：10日（開催ペース：7～8月8日・12月2日） 平均参加人数：33人 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 ■スポーツ □その他（ ） | | 開始年度：平成26年度 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：11人 | |

■ 活動の概要・特徴的な活動

甲西中学校区の三校（甲西中学校・三雲小学校・三雲東小学校）、学校運営協議会、みくも学区まちづくり協議会と連携して計画、実施している。地域で活躍中のボランティアサークルに協力いただき、折り紙アート（うちわ制作）やお抹茶体験、お習字教室と夏休みの課題学習。また、コロナ終息で4年ぶりの親子パン教室を開催。12月には三雲東青少年育成学区民会議とコラボし、「あつまれ！ひがしっこ」というスポーツイベント開催。12月22日には、学校運営協議会が主体となり甲西中学校の生徒を実行委員とした三雲小・三雲東小合同企画「みくもっ子・ひがしっこクリスマスパーティー」を開催。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

甲西中学校区でCSを運営している利点を活用し、小中三校の児童生徒が参加、交流できる内容を考えた。中学生が企画やポスター作製、進行を行った。また、手作りの大きな看板は三雲小学校、ツリーにする木と飾りは三雲東小学校で分担し、準備した。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- 例年秋に企画していた歴史探訪は、児童の参加が少なく、両校の児童がより楽しく交流できる企画へと変更した。大人だけで考えるのではなく、甲西中学校の生徒を実行委員として迎え、企画・準備について打合せを重ねた。
- 交流するイベントの内容を楽しく、参加者同士が協力できるものにすることや企画・進行する中学生の姿を見せるようにした。

■ 事業の成果と課題

小学生115人（三雲小67人、三雲東小48人）が参加し、学校・学年をミックスしたグループ16チームによる対抗戦でゲームを楽しんだ。当日は、楽しく活動する小学生、ドキドキしながらも進行する中学生の姿があり、貴重な経験のできる場となった。参加した小学生が中学生の姿を目標にしてくれると嬉しい。小中の連携、打合せ、準備等に調整が必要なため、年度初めから余裕をもって取り組めるようにしていきたい。

■ その他

内容を「ひがしっこ教室通信」として配布し周知を図った。（ホームページにも掲載）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）



【サンタさんからプレゼント】

できた！ わかった！ が実感できる土曜教室

| | | | |
|--|----------|-----------------|---------------|
| 湖南省 | 活動名：土曜教室 | 岩根小学校 | 学校運営協議会：■有 □無 |
| 主な活動場所：岩根まちづくりセンター | | 開始年度：平成22年度： | |
| 年間開催日数：20日（開催ペース：週1日） | | 地域学校協働活動推進員数：2人 | |
| 平均参加人数：6人 | | 平均スタッフ数：6人 | |
| ・活動内容：■学習支援 □体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他（ ） | | | |

■ 活動の概要・特徴的な活動

国語と算数の基礎的内容を窓口とし、「ほめて、認めて、励ます」ことを重視し、自尊感情を高めることを目指している。通常学級で個別の指導・支援を要する児童（3～4年生）のうち、校内の協議結果に保護者の合意が得られた児童を対象として個別の学習支援を実施している。形態は、全体指導者1名と個別支援者約6名と事務局1名でなされている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

事務局は、本校の学校支援員を兼ねているため、児童の実態をよく把握している。支援者は、校区在住の元教員や元保育士および教育や福祉等を志す学生等。



【 ほめて 認めて 励ます 】

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・指導・支援の質が保てる範囲を維持できる人数にすること。
- ・教室終了後、スタッフで個々の児童の課題を共有し、個に応じた手立てを決定する場を設けている。

■ 事業の成果と課題

- 自力で学習する力がつき始め、学校の宿題である自主学習も意欲的に取り組めた。
- カルタなどのグループワークによって、よりよい人間関係づくりができた。
- 失敗経験が多いため、自信を失っている児童が多い。根気よくほめて認めて励ますことで、児童の自信につながり、自尊感情が高まり、学ぶ意欲を引き出すことができた。
- 新たな支援者（特に、学生）の発掘に苦慮している。

報告書記入者（ 校長 ）

学び、体験 そして地域を知ろう！土曜日教室

| | | | |
|--|-------------------|-----------------------|---------------|
| 湖南省 | 活動名：学校・地域で学ぶ土曜日教室 | 菩提寺小学校 | 学校運営協議会：■有 □無 |
| 主な活動場所：菩提寺小学校 | | 開始年度：平成26年度： | |
| 年間開催日数：10日（開催ペース：1、2ヶ月に1回） | | 地域学校協働活動推進員数：2人（兼務2人） | |
| 平均参加人数：30人 | | 平均スタッフ数：5人 | |
| ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ） | | | |

■ 活動の概要・特徴的な活動

菩提寺地区には小学校が2校あり、年10回の活動のうち5回（内1回は天候不良で中止）は2校で開催している。地域の菩提寺まちづくり協議会からの支援を得ての開催もある。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

地域の菩提寺まちづくり協議会からの支援や地域住民がボランティア講師となり継続して協力いただけている事業もある。また地元中学生のボランティア部の協力も大きな力となっている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

今年度よりタウンメールにて案内を配信する試みを行ったが、保護者のみの案内となることで開催を知らない児童がいたり見落とししたりすることに繋がってしまったので、配信と同時に書面配布を行うことで児童の目にも留まる様に工夫した。



【 ボランティア講師によるマジック教室 】

■ 事業の成果と課題

夏休み中に開催する勉強会や絵画教室は例年参加人数が多いが、土曜日に開催する教室は減少傾向にある。児童の興味関心を探りながら地域の方と連携し継続した活動を行っていきたい。

■ その他

参加した児童は満足し次回の参加に繋がっている。活動の様子を学校ホームページや広報等に載せ、多くの方に本事業に関心をもっていただけるよう取り組んでいきたい。

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

土曜日の教育支援活動～地域の子どもがつながる～ わくわく体験・学習教室

| | | |
|--|---------------------|---|
| 湖南省 | 活動名 菩提寺学区土曜日の教育支援活動 | 菩提寺北小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 主な活動場所：菩提寺北小学校 菩提寺まちづくりセンター | | 開始年度：平成 22 年度： |
| 年間開催日数：10 日（開催ペース：1・2か月に1回） | | 地域学校協働活動推進員数：2 人 |
| 平均参加人数：20 人 | | 平均スタッフ数：5 人 |
| ・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） | | |

■ 活動の概要・特徴的な活動

毎年、菩提寺まちづくり協議会支援のもと、菩提寺学区にある菩提寺北小・菩提寺小の2校が合同で年間10回計画を立て開催している。

今年度活動

①大山川での魚つかみ ②～④学習教室&絵画教室 ⑤ポンポン船づくり
⑥わらじ作り ⑦マジック教室 ⑧門松作り ⑨習字教室 ⑩竹細工

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

各講座の講師・指導は全て地域の方やボランティア団体、まちづくり協議会の委員会にお願いしている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

ほとんどの活動が保護者同伴となっており、親子で力を合わせて作り上げたり、挑戦したりと日頃気薄になりがちな親子でのコミュニケーションを図ることも大事なひとつとなっている。

■ 事業の成果と課題

この事業をやり始めた当初より年々どの講座も参加者が減ってきている。土曜日の過ごし方も各家庭で多様化してきており、みんなが興味を持てるようなものを企画しようと考えてはいるが、これが一番の課題である。

■ その他

菩提寺まちづくり協議会の参加者への保険・材料費などの支援が非常にありがたく事業を継続できる要因にもなっている



【 マジック教室 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

『アートなしもしょう』 ～ 地域と一緒に創立 150 周年を盛り上げよう～

| | | |
|--|-----------------|---|
| 湖南省 | 活動名 : しもしょう土曜教室 | 下田小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 主な活動場所：下田小学校・下田まちづくりセンター | | 開始年度：平成 26 年度： |
| 年間開催日数：10 日 | | 地域学校協働活動推進員数：2 人（兼務 2 人） |
| 平均参加人数：10 人 | | 平均スタッフ数：10 人 |
| ・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） | | |

■ 活動の概要・特徴的な活動

令和 6 年 3 月に下田小学校が創立 150 周年を迎えるため、児童だけでなく地域とともに盛り上げようと「アートなしもしょう」を企画、実施した。この活動では、地域の方や児童と 150 周年に関係する作品を作ることをテーマとし、カウントダウンボードや横断幕を作成した。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

地域で木工の仕事をしている方にカウントダウンボード土台の作成をお願いした。横断幕の作成には、卒業生である日枝中学校の生徒にボランティアとして参加してもらった。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

児童や参加してくれているボランティアに、150 周年を盛り上げるといふ共通目標があることで、それぞれの活動の企画、運営がスムーズに実施できている。

■ 事業の成果と課題

横断幕の作成はデザインを参加児童が考え、布への下書き、色塗り等の作業も児童が中心となって活動を実施したことで、150 周年を迎える下田小学校について関心を持つことができた。

カウントダウンボードの数字を 6 年生と 5 年生が書き、自分たちで数字の張替えをしてくれている。カウントダウンボードは正面玄関に設置してあるが、運動会等で地域の方々にも見てもらうことができている。

下田小学校創立 150 周年ということを地域に広く知ってもらうためには、今後も様々な形での広報活動が重要になる。



【 横断幕とカウントダウンボード 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

自分が好き なかまが好き 学校が好き ふるさとが大好き！ 水戸っ子を育もう

| | | | |
|--|--------------------|---------------------------|---|
| 湖南市 | 活動名：水戸っ子 学ぶ力アップ！教室 | 水戸小学校 | 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 主な活動場所：水戸学区 | | 開始年度：平成 26 年度 | |
| 年間開催日数：13 日 | | 地域学校協働活動推進員数：12 人（兼務 2 人） | |
| 平均参加人数：30 人 | | 平均スタッフ数：3 人 | |
| ・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） | | | |

■ 活動の概要・特徴的な活動

子どもたちが主体的に学べることを目標に地域と連携しながら取り組んでいる。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

自治会やまちづくり協議会と連携し地域の公園、茶釜川、市民学習交流センターなどで子どもたちが活躍できる場をつくっている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

4 年生はまち協の管理する水戸菜園での芋づくりを、5、6 年生は自治会の清掃に参加を呼びかけている。夏と冬の小中連携、12 月のまちづくりフェスタでは有志の子どもたちがお客さんではなく参加、大人は子どもたちに場を用意することで子どもたちの力が発揮できていた。

■ 事業の成果と課題

子どもたちが「地域を知る」ことは定着してきたが「地域の一員として」活動するにはなかなか十分な時間がとれなかったり、地域の方にお任せしてしまったりすることも多かった。フェスタに参加した子どもは、中学生や大人と活動し周りに認められてとてもやりがいを感じているようだった。見ている子どもたちの中には来年は自分もスタッフをしたいと言ってくれる子もいた。地域のため、という思いでがんばる子どもの成長を感じ、それを地域の方にもアピールできる活動だった。

■ その他

外国籍児童のための勉強会を夏と冬に行っている。教育支援員さんに一人一人丁寧に寄り添ってもらいながら学習を進めている。小中連携事業の書道教室では小中学生の交流、ボランティアの育成をはかっている。



【 まちづくりフェスタスタッフ 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）